

海洋教育の推進

三重大学は、小浜町に3年前に開所した三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設水産実験所(以下、水産実験所)および、旧小浜小学校に三重大学伊勢志摩サテライトの伊勢志摩産業振興教育研究センターも設置し、地域のかたがたの協力の下でさまざまな教育・研究プロジェクトを進めています。今回は鳥羽市での海洋教育推進事業についてご紹介します。

集・観察プログラムを中心に、鳥羽市を含む伊勢志摩国立公園の生物多様性に関する講義やスナメリ(伊勢湾でも見られるイルカの種類)の観察や、釣り体験や魚食体験など、地域の特徴的な自然や生き物を題材としたプログラムを多数展開しています。今年度の新規プログラムとして、鳥羽小学校5年生を対象に釣り体験・魚食体験のプログラムを実施しました。鳥羽磯部漁協小浜支所および小浜町のみなさまのご協力を得て、普段は釣り禁止となっている漁港スペースで釣りを体験してもらい、身近な海にどういった魚がいるのか知ってもらおうとともに、鳥羽磯部漁業協同組合のみなさまの協力によって桃取で試験養殖を行っているマサバを試食してもらい、地域の魚の魅力を発見してもらいました。また、加茂中学校にて実施している生物採集・観察プログラムでは、鳥羽市のレッドデータブックを活用し、学校区に生息する貴重な生物を観察する内容になって

います。鳥羽市が誇る豊かな生物多様性によって、生物採集が得意でない生徒のみなさんも、多くの生物を捕獲し触れ合うことができます。

海洋教育プログラムの目的は、鳥羽市教育ビジョンの実現です。鳥羽市はその全域が伊勢志摩国立公園に含まれており、人と自然の共存が特徴となっています。鳥羽の子どもたちが人と自然が共存する恵まれた環境を十分に享受できるように海洋教育プログラムを、これからも実施していきたいと考えています。児童・生徒のみなさんにはアンケート調査に協力いただいております。保護者のみなさんには実施同意書の回答に協力いただいております。保護者のみなさん、先生にはお手数をおかけしていますが、調査結果をプログラムの向上に役立てていますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(助教 山本)

鳥羽のきらり
歴史遺産語り

知られざる鳥羽の魅力をたっぷりお届けします!



豊田祥三
鳥羽市文化財
専門員

教育委員会生涯学習課
☎(25) 1268

郷土学習に
取り組んでいます!

鳥羽市は豊かな歴史文化をもつまちです。代表的なものとしては「真珠と御木本幸吉」「海女」「九鬼嘉隆と鳥羽城跡」の3つのテーマが挙げられます。そのほかにも千代田生命保険設立の父、門野幾之進や鳥羽商船学校の創始者近藤真琴など多くの人材が鳥羽から出ていますし、各地域には多くの祭りや伝統行事も傳承されてきました。文学の面でも三島由紀夫の代表作で神島を舞台にイメージして描かれた小説『潮騒』やミステリー作家の大御所である江戸川乱歩も鳥羽で青年期を過ごしているなど、本当に数多くの歴史と文化があります。

た3大テーマについて学習し、各校で検定を行っています。これまで、岩田準一の『鳥羽志摩の民俗』『志摩の海女』などの先駆的な研究や、海の博物館の存在もあり、漁業や漁村文化など、民俗の分野については研究・資料収集が行われてきましたが、郷土の歴史の研究は活発とはいえない状況です。今後、郷土学習を通して子どもたちの中で、これらの調査研究を担う人材が出てきてくれることを期待しています。

なお、『とばっこ探偵団』のテキストは一般には配布しておりませんが、市のホームページ、市立図書館で閲覧が可能です。ぜひ、ご覧ください。



認定バッジ



郷土学習の副読本
『とばっこ探偵団』



ホームページ